誤記訂正

取扱説明書の記載内容に間違いがありましたので訂正いたします。
正しくは、下記のようになります。

P27 左カラム「任意の区間を繰り返して再生する（A-Bリピート再生）」のメモ

誤：トラックをまたいでのA-B区間の設定は行えません。

↓

正：CDではトラックをまたいでのA-B区間の設定は行えません。

P34 左カラム「録音するときの注意」の注意に追加

誤：本機はSCMSに準拠しており、デジタルで接続した場合に、CDからダビングしたMDをソースとして録音するような操作（孫コピー）はできません。

↓

正：本機はSCMSに準拠しており、デジタルで接続した場合には以下の制限があります。

	MD化	
オリジナル	1世代目	2世代目
コピー禁止	X（不可）	X（不可）
1世代のみ化	○（可）	X（不可）
コピーフリー	○（可）	○（可）

P34 右カラム「トラック番号を更新する（繰り上げる）」のメモ

誤：デジタルソース録音時には、ソースのトラック番号更新に合わせて自動でトラック番号が更新されます。

↓

正：CDまたはMDをデジタル入力して録音する場合、ソースのトラック番号更新に合わせて自動でトラック番号が更新されますので、**“– **dB”**（**“A_TRK?”** 項目で **“Level”**）でのオートトラック機能は動作しません。
CDおよびMD以外からのデジタル録音では **“– **dB”**（**“A_TRK?”** 項目で **“Level”**）でのオートトラック機能は動作します。

P35 右カラム「プリレコーディング（タイムマシン録音）機能」のステップ1

誤：MDメニューのRECサブメニュー内の **“TM_REC?”** 項目を使って、バッファに蓄えるデータの時間を設定します。

↓

正：MDメニューのRECサブメニュー内の **“PRE REC?”** 項目を使って、バッファに蓄えるデータの時間を設定します。

P39 左カラム「トラックを分割する（DIVIDE機能）」のメモ

誤：トラックに名前が付いている場合、分割されたトラックの後ろのトラックには名前が付きません。

↓

正：トラックに名前が付いている場合、分割されたトラックの後ろのトラックも前のトラックと同じ名前になります。

P26 左カラム「タイムサーチ機能－基本操作」のメモに追加

- ランダム再生モード、プログラム再生モード、グループ再生モードでは、この機能は使えません。

P28 左カラム「希望の曲を希望の順に再生する（プログラム再生）」のメモに追加

- データCDの場合は、プログラム総時間は表示されません。

P32 第8章「CDをMDにダビングする」に注意を追加

注意

コピー禁止のCDをダビングすることはできません。

P34 右カラム「自動でトラック番号を更新する（オートトラック機能）」のメモに追加

- オートトラックのモードが **“Time”** のとき、プリレコーディング機能を有効にすると、最初のトラックの長さは **“A_TRK TIME?”** 項目で設定した時間よりもプリレコーディング設定時間分だけ長くなります。

P34 右カラム「手動でトラック番号を更新する」にメモを追加

- 手動でトラック分割する場合、4秒以下のトラックを作成することはできません。

P38 右カラム「複数トラックをまとめて消去する（ERASE MULTI機能）」のメモに追加

- ディスクにグループがある場合は、この機能は利用できません。（**“Can't Edit!”** を表示）